



## 平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 東  
 コード番号 2736 URL http://www.sadamatsu.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 磯野 紘一 TEL 03 (5768) 9957  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績（平成25年9月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	1,665	1.7	△133	—	△139	—	△104	—
25年8月期第1四半期	1,636	△4.2	△132	—	△139	—	△104	—

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 △97百万円 (—%) 25年8月期第1四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	△9.27	—
25年8月期第1四半期	△9.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	6,623	1,308	19.5
25年8月期	5,758	1,423	24.5

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 1,292百万円 25年8月期 1,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年8月期の連結業績予想（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,170	5.2	100	32.1	85	26.1	20	43.4	1.78
通期	8,150	3.2	170	30.2	140	32.3	25	148.1	2.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期1Q	11,387,000株	25年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	26年8月期1Q	135,418株	25年8月期	135,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期1Q	11,251,691株	25年8月期1Q	11,097,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日～平成25年11月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策により、円安・株高が進行し、輸出企業を中心に景気回復の兆しが見え始めているものの、新興国景気の減速といった海外経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

流通業界におきましては、株価上昇等による資産効果を背景にシニア層や富裕層を中心とした高額消費の積極化が見られた一方、食品価格や電気料金等の値上げに加え、消費税増税による実質可処分所得の減少懸念等により、消費者の低価格志向は依然根強いことから、一段と強まる消費の2極化への対応が求められる状況となりました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループにおきましては、引き続き成長軌道の確立に向けた重点施策として「ブランド力の向上」、「販売力の強化」、「SPA体制の構築」に取り組んでまいりました。

主要事業部門となる株式会社サダマツでは、当社独自の特別なカットによりダイヤモンドの中に大小2つの星が映し出されるジュエリー“Wish upon a star”を強力に推し進めるべく、「夢を叶える星のダイヤモンド」をテーマとしてプライダル需要獲得を柱とした精神価値訴求型のプロモーションを展開しました。さらに、教育プログラムを再整備し、同商品を基軸として販売プロセスの深化とCRMの強化を推進することで、販売単価の向上に努めました。また、高価格帯を含む同商品の生産拡大を図るため、SPA体制の基盤となるベトナム子会社との連携を強化し、品質の向上と供給体制の整備を進めました。

その結果、売上高は前年同期比で1.7%増に留まったものの、プライダル関連商品をはじめとする受注高は当第1四半期期末時点で前年比20.7%増加しました。さらに、“Wish upon a star”の売上構成比は12.7%まで上昇するなど好調に推移し、将来成長への布石となる認知度向上や競争優位性の構築が期待できる状況となりました。

売上総利益に関しては、前年同期に比べ5.3%の増加となりました。これは、“Wish upon a star”などの付加価値の高いオリジナル商品の販売強化に加え、ベトナム子会社の有効活用により同社製品の売上高構成比が30.6%と、前年同期の22.2%から大きく上昇したことで商品原価の低減に繋がり、売上総利益率を前年同期比で2.1ポイント押し上げたことが要因となります。

販売費及び一般管理費については、プライダル需要獲得やクリスマス商戦に向けた積極的な広告宣伝活動に加え、将来成長に備えた人材育成や人的補強のために要した費用が影響し、前年同期に比べ4.7%増加しました。

海外小売部門である在台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松(株)）に関しては、引き続きグループマネジメント体制の強化を進めた結果、収益性が大きく改善しました。海外生産部門である在ベトナム子会社のD&Q JEWELLERY Co., Ltd.（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）に関しては、SPA体制の構築に対応するため、製造機能の向上によるグループ全体の合理化・効率化を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,665百万円（前年同期比1.7%増）、営業損失133百万円（前年同期営業損失132百万円）、経常損失139百万円（前年同期経常損失139百万円）、四半期純損失104百万円（前年同期四半期純損失104百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は6,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ864百万円増加いたしました。その要因は主に、商品及び製品が375百万円、原材料が104百万円、現金及び預金が169百万円、受取手形及び売掛金が103百万円、繰延税金資産（流動資産及び投資その他の資産）が45百万円、有形固定資産が29百万円増加したものであります。商品及び製品が大幅に増加した要因は、クリスマス商戦に向けて重点商品である“Wish upon a star”を中心とした高価格帯の商品在庫を拡充させたものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ980百万円増加いたしました。その要因は主に、支払手形及び買掛金が156百万円、借入金の総額が699百万円、未払金及び未払費用が55百万円増加したものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円減少いたしました。その要因は主に、四半期純損失104百万円の計上、配当金の支払22百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は19.5%となり、前連結会計年度末に比べ5.0ポイント減少いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月期決算発表時（平成25年10月11日）の予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	728,889	898,140
受取手形及び売掛金	598,635	702,463
商品及び製品	2,743,835	3,118,991
原材料	414,384	518,938
繰延税金資産	18,587	54,667
その他	108,055	145,087
貸倒引当金	△1,199	△1,353
流動資産合計	4,611,187	5,436,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	403,082	433,658
減価償却累計額	△202,333	△214,623
減損損失累計額	△9,010	△9,010
建物及び構築物（純額）	191,738	210,023
機械装置及び運搬具	56,745	56,421
減価償却累計額	△41,627	△42,495
機械装置及び運搬具（純額）	15,117	13,926
工具、器具及び備品	180,973	195,000
減価償却累計額	△115,456	△122,939
減損損失累計額	△904	△904
工具、器具及び備品（純額）	64,612	71,156
土地	90,478	90,478
リース資産	123,654	136,293
減価償却累計額	△48,851	△55,273
リース資産（純額）	74,802	81,019
有形固定資産合計	436,750	466,603
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	97,619	97,984
繰延税金資産	55,357	64,728
差入保証金	439,374	437,358
その他	102,587	104,522
貸倒引当金	△6,076	△6,390
投資その他の資産合計	688,862	698,203
固定資産合計	1,139,652	1,179,310
繰延資産	7,526	6,962
資産合計	5,758,366	6,623,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,674	928,720
短期借入金	1,780,906	2,384,482
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金及び未払費用	450,946	506,158
未払法人税等	20,673	13,470
賞与引当金	21,961	11,254
その他	188,721	252,308
流動負債合計	3,335,884	4,196,394
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	443,521	539,164
退職給付引当金	152,378	159,296
その他	152,672	169,937
固定負債合計	998,571	1,118,397
負債合計	4,334,456	5,314,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	155,658	28,865
自己株式	△12,674	△12,692
株主資本合計	1,437,077	1,310,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	448
為替換算調整勘定	△24,921	△18,625
その他の包括利益累計額合計	△24,838	△18,177
新株予約権	11,671	16,326
純資産合計	1,423,910	1,308,415
負債純資産合計	5,758,366	6,623,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	1,636,481	1,665,082
売上原価	654,121	630,331
売上総利益	982,360	1,034,750
販売費及び一般管理費	1,115,048	1,167,832
営業損失(△)	△132,688	△133,082
営業外収益		
受取利息	300	235
受取家賃	285	285
協賛金収入	1,166	—
為替差益	3,335	3,380
その他	274	53
営業外収益合計	5,361	3,955
営業外費用		
支払利息	9,335	8,004
社債利息	695	541
社債発行費償却	564	564
社債保証料	841	654
その他	270	890
営業外費用合計	11,707	10,655
経常損失(△)	△139,033	△139,782
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,033	△139,782
法人税、住民税及び事業税	10,518	9,959
法人税等調整額	△45,391	△45,451
法人税等合計	△34,872	△35,491
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△104,160	△104,290
四半期純損失(△)	△104,160	△104,290



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△104,160	△104,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	365
為替換算調整勘定	6,736	6,296
その他の包括利益合計	6,847	6,661
四半期包括利益	△97,313	△97,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,313	△97,629

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。